



MANOX

微風用 風向風速変換器

微風 (0.2 m/s) から一寸した風 (20 m/s) まで

微風用 光電風向・風速発信器 各 1 台を使用するタイプ

微風用の光電風向・風速発信器と接続して、アナログ信号を送出します。

汎用レコーダによる記録や「風速による制御」などに使用します。

出力信号は誤用をさけるために、固定レンジにしてあります。

気象庁検定に対応が可能です。



VF016



AF750

微風用 風向風速変換器 AVS-62A の仕様

型名	AVS-62A	指示計	80 × 65mm
風向発信器	VF016	台数	1台
風速発信器	AF750	台数	1台
方位	540°	出力	1V(50)
風速範囲	~ 20m/s	出力	1V(50)
幅	260mm	奥行き	205mm
高さ	100mm	重さ	約 3.8kg
交流電源	AC100V	消費電力	5VA
直流電源	DC12V	消費電力	60mA
レスポンス H/M/L 選択			

風向風速変換器 AVS-62A



発信器と変換器とを 専用のケーブル (別売) で接続します。

消費電力は風向・風速発信器を接続した状態の値です。

風向は N- E- S- W- N- E- S の 540° を 1V で出力します。

指示器 (メータ) は 1 個ですが、風向と風速を切り替えて指示します。

3 種の平滑化回路 (回路定数で約 0.05 / 0.5 / 5 秒) があります。

風向と風速の両方が同時に切り替わります。

出力を電流型 (4 ~ 20mA) に改造することが可能です。(オプション)

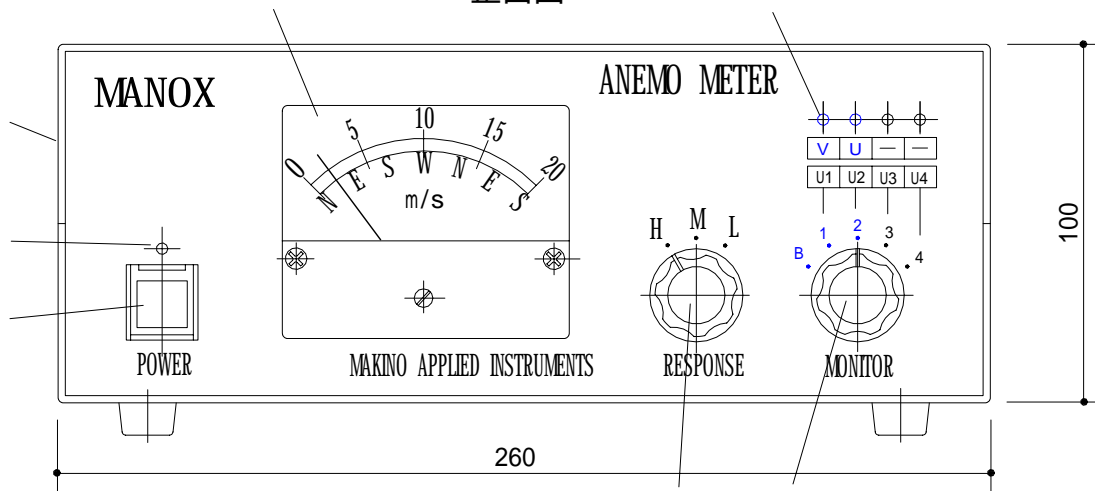
類似品に「強風用・汎用風用」があり、「微風用・汎用風用・強風用」のそれぞれに 風速 1 チャンネル型・風速 4 チャンネル型、風向風速型 があります。

落雷の危険が予想される場合や信号ケーブルを長くする必要がある場合

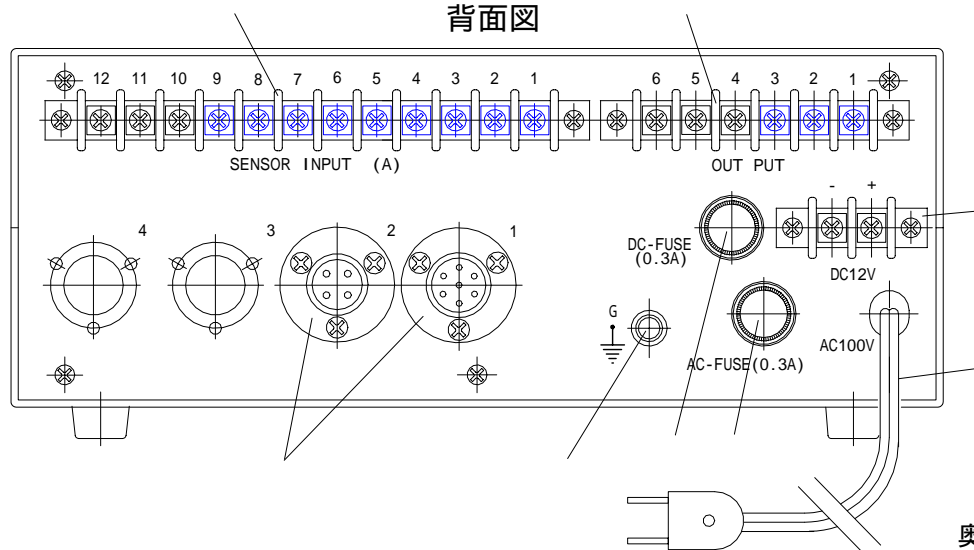
AVS - 62A 外観図・各部名称

AVS系の変換器には 対象とする風の強さにより「強風用・汎用風用・微風用」の3種があり、そのそれぞれに「風向・風速用」「風速1チャンネル用」「風速4チャンネル用」があり、総計9種類あります。 指示目盛板の内容・背面のコネクタの数 が異なるほかは外観は同じです。

正面図



背面図



奥行 205mm
重さ 約3.8Kg

品名貼り付け位置 (側面)

- 電源スイッチ (AC100V・DC12V共用)
- 電源灯 (赤色LED AC100V・DC12V共用)
- 指示器
- 時定数選択スイッチ
- 指示器のチャンネル選択スイッチ (B・1・2のみ有効)
- 入力チャンネル表示灯 (赤色LED V・Uのみ有効)
- AC100V 電源入力コード (長さ 約1.5m)
- DC12V 電源入力端子
- AC100V用 電源保護ヒューズ (0.3A)
- DC12V用 電源保護ヒューズ (0.3A)
- 筐体グランド端子
- データの出力端子 (1・2・3のみ有効)
- 発信器からの入力端子 (1 ~ 9のみ有効)
- 発信器からの入力用コネクタ 風向(7P) 風速(4P)

注記 と とは内部で接続状態にあり、何れかの一方を使用する事。